

基本目標3 子育てを支えていく地域をつくる

取り組み目標 地域の中で、人とのつながりを持ちながら育つ

- ① 地域での子育ての見守りができる体制がある
- ② 家族や地域で子育てについて話し合う場がある

【現状と課題】

急速な少子化、家族の形態、生活スタイルの多様化の他、新型コロナウイルス感染症拡大による交流機会の減少など、子育て家庭とそれを取り巻く環境は複雑に変化してきています。このような背景により、孤立して子育てしている親が増えてきています。育児は家庭生活の中で営まれることは基本ですが、人とのつながりを持ち、地域の中で社会的な存在として子どもを育てていくという視点を持つこと、地域で支えることも大切です。

また、子どもと保護者が地域で安心して過ごせるよう、要保護児童対策協議会を開催して、関係機関で情報を共有し、今後の支援、役割分担について協議を行っています。今後も児童虐待の発生予防、早期発見早期対応、子どもの保護・支援、保護者支援について、地域で取り組む必要があります。

子育て家庭が安心して子育てするために、家庭、地域、学校、行政が一体となって子どもたちを育てていく地域づくりと適正な情報提供、周知、関係機関との連携が必要となっています。

子育て支援センター利用状況（令和4年度実績）（単位；人）

施設名	利用延数
エンゼルプラザみずさわ	8,053
江刺保育園子育て支援センター友遊広場	2,059
駒形子どもの杜子育て支援センター	1,216
こばとこども園子育て支援センター	1,327
胆沢保育園子育て支援センター	2,390
東水沢保育園子育て支援センター	1,501
聖愛地域子育て支援センター	3,945
前沢子育て支援センター	2,847
あゆみ園子育て支援センター	851
合計	24,189

資料：奥州市子育て総合支援センター年報

子育て相談状況（エンゼルプラザ・赤ちゃんの日・赤ちゃんの日の相談）（単位；件）

	電話	来所	メール	訪問	エンゼル	赤ちゃんの日	計
令和元年度	83	22	10	0			115
令和2年度	60	6	3	1			70
令和3年度	33	7	1	2	251	122	416
令和4年度	69	35	0	2	255	279	640

資料：奥州市子育て総合支援センター年報

ファミリーサポートセンター会員数(単位;人) ファミリーサポートセンター活動実績件数(単位;人)

	令和3年度	令和4年度
依頼会員	693	726
提供会員	286	295
両方会員	56	52

	令和3年度	令和4年度
活動件数	1,240	966

資料：奥州市子育て総合支援センター年報

保健師家庭訪問指導件数（令和4年度）

（単位；人）

地域	妊婦		産婦		新生児 (未熟児除く)		未熟児		乳児 (新生児除く)		幼児		その他	
	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員
総数	8	9	131	147	43(43)	46(43)	14(14)	14(14)	86(73)	98	45	79	17	22
水沢	4	4	64	68	31(31)	31(31)	7(7)	7(7)	33(24)	37	28	55	4	5
江刺	1	1	27	27	0(0)	0(0)	2(2)	2(2)	27(27)	27	10	11	5	5
前沢	1	2	21	30	8(8)	10(8)	3(3)	3(3)	11(7)	15	2	2	8	12
胆沢	1	1	15	18	2(2)	3(2)	0(0)	0(0)	14(14)	18	5	11	0	0
衣川	1	1	4	4	2(2)	2(2)	2(2)	2(2)	1(1)	1	0	0	0	0

資料：奥州市保健年報

注) () 内は児童福祉法に基づく乳児家庭全戸訪問を同時に実施した件数。

養育支援訪問世帯数（令和4年度）

（単位；世帯）

地域	保健師		歯科衛生士		合計	
	実件数	延件数	実件数	延件数	実件数	延件数
総数	85	158	6	6	91	164
水沢	51	94	2	2	53	96
江刺	13	15	1	1	14	16
前沢	12	26	2	2	14	28
胆沢	8	22	1	1	9	23
衣川	1	1	0	0	1	1

資料：奥州市保健年報

【目指す姿】

○この地域で子育てをしたいと思う

【方向性】

子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠届出時より妊婦や子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や必要な支援につなぐ伴走型相談支援を実施すると共に、子育て総合支援センター等関係機関との連携を強化します。

住み慣れた地域で安心して子育てをするために、保護者の子育てにおける孤独感や不安感、負担感を解消できるよう取り組んでいきます。具体的には子育て支援センターなど社会資源の利用をすすめる親子同士の交流を促したり、思春期保健連絡会や母子保健連絡会、学校保健委員会などを通じて母子保健活動の情報提供を行い、地域関係機関での取り組みに結び付けられるよう連携します。また、仕事と子育ての両立や経済的な不安などがある保護者には、気持ちに寄り添いながら適切な関係機関へ繋げることで、問題の解決を図ります。

更には、言葉や文化の違う土地で子育てをしている外国の方が、安心して暮らしていけるよう、国際交流協会等関係団体と連携して支援します。

子育ての悩みを持つ家庭をあらゆる機会に早期把握するよう努め、子育てに関する相談やサービス、子育て支援センター等の利用により、子育て家庭の孤立化を避け虐待の未然防止に向けて支援します。

養育面で支援を必要とする家庭については、要保護児童対策地域協議会や関係機関と情報共有し、虐待が深刻化しないよう支援体制を強化します。

【活動（対策）】

住民が自分でできること	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターを利用し、地域とのつながりを持つ ・親が子育てに困った時、相談する
みんなが協力してできること	<ul style="list-style-type: none"> ・困っている親子がいたら、相談機関へつなぐ ・関係機関が連携し子育てを見守りできる ・学校保健委員会の開催 ・母子保健連絡会に参加
行政が果たすべきこと	<p><新規・強化事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの運営と機能強化 ・こども家庭センターの設置（令和6年度）【新規】 ・子育て総合支援センターとの連携 ・学校保健委員会との連携 ・要保護児童対策地域協議会との連携 <p><継続事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦・乳幼児健康相談事業 ・外国人育児支援事業 ・思春期保健連絡会 ・教育保育施設と保健センターとの連絡会 ・健康づくり推進協議会・食育推進協議会との連携 ・保健所との連携 ・胆江地域肥満等連携システム参加 ・奥州医師会、奥州歯科医師会との連携

【成果指標】

項目	データベース	対象	実績 (R4)	目標値 (R10)
この地域で子育てをしたいと思う親の割合	4か月児健診	4か月児の保護者	92.1%	98.0%
	1歳6か月児健診	1歳6か月児の保護者	93.8%	98.0%
	3歳児健診	3歳児の保護者	92.6%	98.0%

注) 「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計数を分子として算出